

2019年9月4日

チカホイベント：下水道事業パネル展 報告書



GKP北海道は、令和元年8月31日（土）～9月1日（日）、札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）で「下水道事業パネル展」（札幌市と北海道地方下水道協会主催）の企画協力を行いました。企画協力は今年で5年目となります。

地下歩行空間での土日の開催ということもあり会場には2日間の来場者は2,874人と、年を重ねるにつれ大幅に増加しています。（H30 2,265人、H29 1,741人）下水道の関心は年々高まっており、この活動により、市民のみなさまに下水道の大切さや魅力を感じ取っていただけたと思います。

今回のGKP北海道の企画としては、「道内下水道遺産パネル展示」、「じゅんかん育ち展示」、「全国マンホールカード展示ブース」、「衝撃弾性波実験デモに劣化管きよの実物展示」、「塩ビ管端材のブロック遊び」、「道内デザインマンホール総選挙」、「マンホール版画」さらに「ステージイベント」と盛りだくさんのコンテンツを提供いたしました。

道内デザインマンホール投票では986人もの方に投票いただき、1位 苫小牧市、2位 函館市、3位 芦別市、4位 滝上町、広尾町（同数）、5位 釧路市となりました。今年も来場者の目を引いたのが「全国マンホールカード全539種類展示」でした。パネル展示に加え、訪れた方に直接手に取って試みることができるようにトレーディングカードのファイルに入れて展示しました。会場にはマンホールカードを見て来場されるお客さまが多く、また特に女性客が多く、実際にマンホールカードを収集しているマンホラーも数多くいらっしゃいました。新企画の「マンホール版画」は、子どもからお年寄りまで大人気でした。



マンホールカードの展示 マンホラーがたくさん来場しました



じゅんかん育ち展示



衝撃弾性波ロボット 子どもから大人まで興味津々



塩ビ端材のブロック遊び



マンホール版画（新企画）



マンホール総選挙

初日ステージイベントでは GKP 北海道から、「マンホールカードの楽しみ方」、鶴巻工業（株）田家さんから、「実物大??マンホールふたのもようをとってみよう!」、GKP 北海道から「うんことトイレのお話し」のトークショーを行いました。トークショーでは、北海道限定のマンホール一缶バッジ（北海道限定色の緑色）を配布いたしました。さらに「こんなにすごいじゅんかん育ち」を説明した後に、十勝地方幕別町で朝採れたばかりのとうもろこしを北海道 GKP 会員が輸送し無料配布しました。



マンホールカードの楽しみ方



実物大??マンホールふたのもようをとってみよう! 鶴巻工業（株）田家さま



うんことトイレのお話し



こんなにスゴイじゅんかん育ち

2日目のステージイベントでは、「マンホールカードの楽しみ方」、鶴巻工業（株）田家さんから、「実物大??マンホールふたのもようをとってみよう!」、GKP 北海道から「下水道むかし語り」「水仙人、災害を考える!」のトークショーを行いました。トークショーでは、初日同様、北海道限定のマンホラー缶バッジ（北海道限定色の緑色）を配布いたしました。



下水道むかし語り



水仙人、災害を考える!

初日、2日目ともアカペラパフォーマンスを開催し、会場を盛り上げました。



初日 : NoSeRA (ノゼラ) 「6ch」



2日目 : Lapis (ラピス) 「濤奏(ミオツク)」

以上